

# 「成長戦略進化のための今後の検討方針」の概要

- 経済の好循環が生まれる中、中長期的な経済成長を目指し、民間投資を喚起するための構造改革を進めることが重要。
- 我が国の地力を固めて潜在能力を発揮させるとともに、激化する先端分野でのイノベーションを促進して国際競争力を強化し、さらに、オリ・パラ東京大会が開催される2020年を改革のモメンタムとして設定して改革を加速化、成果を全世界に発信。

## I 我が国の潜在力の強化

<経済成長3要素>

資	+	労	+	生産性向上
↓		↓		↓
「攻めの経営」 投資家との対話		女性活躍(保育士 確保、長時間労働 是正)、外国人材		サービス産業の 活性化・生産性 向上

<市場>

事業環境 → 国家戦略特区(近未来技術実証等)  
対日直接投資(関係機関、自治体連携等)  
エネルギー(エネルギーミックス)

成長市場 → ヘルスケア(インバウンド、ICT活用)  
農林水産業(農業の構造改革、輸出促進)  
観光(査証緩和、通訳案内士見直し)  
PFI/PPP(公的資産の有効活用)

海外市場 → インフラシステム輸出(海外都市開発)  
クールジャパン(放送コンテンツ)  
経済連携(TPP)

## II 未来社会を見据えた変革

イノベーションナショナル・システムの実現	→	大学改革 地域産学官連携
イノベーション人材の開発	→	(企業)キャリアマネジメント (働き手)キャリアアップ (教育)高等教育機関改革
ITネットワーク社会の構築	→	行政手続きの電子化 パーソナルデータ、マイナンバー モバイル競争促進、周波数配分
ビッグデータ・AI産業構造改革	→	将来像の共有、国際標準化

## III 改革のモメンタム

改革・イノベーションの梃子(レバレッジ)、牽引役(アクセラレータ)、後世代に継承できる財産(レガシー)の観点から、我が国の強みを「社会実装・ショーケース化」できるプロジェクトを選定。

システムソリューション輸出 → 自動走行、水素社会、炭素繊維

クールジャパン → ジャパンブランド、日本食、ファッション

訪日観光客拡大 → 入国手続き、無料公衆無線LAN、多言語対応

対日直接投資拡大 → ビジネス環境改善、組織的誘致活動